

指定管理者に係る令和6年度事業報告書及び令和7年度事業計画書について (荒 川 大 麻 生 公 園)

指定管理者：公益財団法人埼玉県生態系保護協会（令和3年度～令和7年度）

1 令和6年度事業報告書の概要

（1）管理業務の実施状況

- ア 希少動植物を始めとする貴重な自然資源を将来に引き継ぐため、ボランティアの協力による環境管理作業を継続して行った。
- イ 公園の自然環境を活かしたイベント等を企画し、開催した。
 - ・わくわく野あそび隊「竹で水鉄砲をつくろう」、「はじめての木のぼり体験」等
 - ・大麻生自然塾「初夏の河原で植物と昆虫探検ウォーク」等
 - ・エコ・パークボランティア（環境管理イベント）「カワラナデシコの株数調査」「野草広場の火入れ」等
- ウ スポーツ・レクリエーション利用が快適に行えるように、施設の適切な維持管理を行った。
- エ 安全管理マニュアルの内容について、研修等により職員への周知を図りました。
- オ 週2回園内を巡回パトロールし、園内の防犯、事故等の未然防止に努めました。

（2）施設の利用状況（過去5年間）

有料施設なし

(3) 収支状況

(単位：千円)

項 目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	17,610	17,610	0		
利用料金収入	0	66	△66	撮影利用の減による減	
その他収入	139	135	4	自主イベントの収入増による増	
収入合計	17,749	17,811	△62		
人件費	13,212	13,200	12	現場対応の増加による増	
事業費	4,538	4,611	△73	資材購入見直し等による減	
支出合計	17,750	17,811	△61		
収支差額	△1	0	△1		

[参考] 指定期間における収支決算額の推移 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入	17,031	17,024	17,043
支 出	17,043	17,051	17,074
収支差額	△12	△27	△31

2 令和7年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 希少動植物を始めとする貴重な自然資源を将来に引き継ぐため、ボランティア体制の充実を図り、適切な自然環境管理を行う。
- イ 公園の自然環境を活かしたイベント等の実施及び関連した広報活動により、荒川大麻生公園の自然資源を県民に向けてアピールする。
- ウ スポーツ・レクリエーションの利用が快適に行えるように、施設の適切な維持管理を行う。

(2) 事業計画

- ア 専門職員が企画する自然体験・観察イベントの実施、移動販売車によるサービスの提供（新）
- イ 草地、樹林地等の維持管理
- ウ 園内の巡回、清掃、安全管理 等
- エ 外来植物の除去や希少植物の生育数調査など、ボランティアとの協働による園内管理
- オ 団体利用の積極的な受け入れ、CSRに取り組む企業への活動場所の提案
- カ 荒川増水時の対応のため洪水時施設撤去マニュアル作成。増水時にはマニュアルに基づき対応
- キ イベントや自然情報について散策用のガイドを作成するほか、ホームページや SNS、行政発行物、ミニコミ誌などを通じ幅広い世代へ公園の情報を発信

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項 目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	18,319	17,610	709	4.0	
利用料金収入	66	66	0	0	
その他収入	155	135	20	14.8	自主事業の拡充による増
収入合計	18,540	17,811	729	4.1	
人件費	13,926	13,200	726	5.5	
事業費	4,614	4,611	3	0.1	
支出合計	18,540	17,811	729	4.1	
収支差額	0	0	0	0	

(4) 執行体制【9名】

総括責任者 (1) 〈公園運営を主管する〉

- ― 事務担当スタッフ (3) 〈事務・経理関係業務を担当する〉
- ― 現場担当スタッフ (4) 〈園地管理・利用者対応など現場業務を行う〉
- ― 現地連絡員 (1) 〈緊急対応・利用者対応など現場業務を行う〉

(参 考)

○公園の概要

熊谷市の河川区域内に位置する公園。多くの野鳥を観察することができる「野鳥の森」や、芝生の広がる自由広場がある。(供用面積166.7ha)

○開設年月日 昭和61年11月15日